

令和2年度当初予算の要求概要

企業局

企業局では、「長野県公営企業経営戦略（計画期間：平成28年度～令和7年度）」の改定に向け、企業局の経営理念（キャッチフレーズ）である「水の恵みを未来へつなぐ」を具現化し、社会環境の変化や直面する課題に迅速かつ的確に対応するとともに、「しあわせ信州創造プラン2.0」の目標達成に向けて積極的・重点的に取り組むための予算を要求しています。

また、先般の台風第19号災害など頻発する大規模災害への対応と、「気候非常事態宣言」を踏まえ、「再生可能エネルギーの普及拡大の推進」と「エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり」に向けた喫緊の対策を含む要求としています。

なお、企業局は、地方公営企業法に基づき予算の編成等を行い、また各事業に係る経費は主に料金収入により賄っているため、一般会計とは公表形式が異なっていますので、御了承ください。

1 要求の概要

【電気事業】

(1) 収益的収支 (消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和2年度 要求額(A)	令和元年度 当初予算額(B)	差 引	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	3,953,288千円	4,078,632千円	△ 125,344千円	96.9%
支 出①	3,198,146千円	3,036,263千円	161,883千円	105.3%
差 額	755,142千円	1,042,369千円	△ 287,227千円	72.4%
(損 益)	(467,340千円)	(786,813千円)	(△ 319,473千円)	(59.4%)

(2) 資本的収支 (消費税込み)

区 分	令和2年度 要求額(A)	令和元年度 当初予算額(B)	差 引	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	1,935,662千円	2,467,750千円	△ 532,088千円	78.4%
支 出②	4,495,699千円	4,387,312千円	108,387千円	102.5%
差 額	△ 2,560,037千円	△ 1,919,562千円	△ 640,475千円	133.4%
支出総計①+②	7,693,845千円	7,423,575千円	270,270千円	103.6%

(3) 要求のポイント

〔収益的収支〕

収入については、新たに横川蛇石発電所の運転を開始（令和2年4月予定）する一方で、大鹿第2発電所（令和元年9月末まで）及び小渋第3発電所（令和2年9月末まで）の固定価格買取制度（FIT制度）の適用が終了することなどから、減額計上しました。

支出については、新規発電所に係る減価償却費の発生などから、増額計上しました。

〔資本的収支〕

収入については、新規電源開発地点発掘プロジェクト等による新規発電所建設の本格化等に備え、企業債の発行を抑制することから、減額計上しました。

支出については、水力発電所の新規建設や、出力増強工事等とともに、AI・IoTを活用したスマート保安推進事業等の実施により、増額計上しました。

(4) 主要事業の概要

経営の安定と再生可能エネルギーの供給拡大に向けて、現行FIT制度を活用した水力発電所の新規建設、老朽化した既設発電所の大規模改修とともに、出力増強工事を着実に推進します。

また、災害による停電時に備え、自立運転機能の整備推進による所内電源の確保や、スマート保安推進事業等の新たな重点事業に取り組みます。

(消費税込み)

業 務 量 等	主 要 事 業		
	令和2年度要求	令和元年度当初	
発 電 所	17所	16所	○水力発電設備整備費 3,457,367千円 ・ 県管理ダムを活用した新規2発電所建設 (令和3年度運転開始)
最 大 出 力	101,197kW	100,998kW	・ 新規発電所建設 (小渋えんまん他6か所)
年間販売電力量	340,078千kWh	335,965千kWh	・ 大規模改修工事 (西天竜、美和、春近、与田切)
料 金 収 入	3,591,426千円	3,756,561千円	・ 出力増強工事 (裾花)
建 設 改 良 費 (債務負担行為設定額)	3,484,367千円 (5,920,305千円)	3,338,565千円 (29,380,425千円)	○ 新 自立運転機能の整備推進による所内電源の確保 ○ 新 AI・IoTを活用したスマート保安推進事業 55,000千円 ○ 水素ステーション実証事業 3,300千円 ○ 一般会計への繰出し 450,000千円 (地方創生積立金・省エネルギー推進支援積立金の活用)

【水道事業 (末端給水事業)】

(1) 収益的収支

(消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和2年度 要求額(A)	令和元年度 当初予算額(B)	差 引	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	4,160,752千円	4,150,586千円	10,166千円	100.2%
支 出 ①	3,900,956千円	3,824,063千円	76,893千円	102.0%
差 額 (損 益)	259,796千円 (89,964千円)	326,523千円 (153,683千円)	△ 66,727千円 (△ 63,719千円)	79.6% (58.5%)

(2) 資本的収支

(消費税込み)

区 分	令和2年度 要求額(A)	令和元年度 当初予算額(B)	差 引	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	1,667,075千円	1,864,136千円	△ 197,061千円	89.4%
支 出 ②	3,625,968千円	3,683,100千円	△ 57,132千円	98.4%
差 額	△ 1,958,893千円	△ 1,818,964千円	△ 139,929千円	107.7%
支出総計①+②	7,526,924千円	7,507,163千円	19,761千円	100.3%

(3) 要求のポイント

[収益的収支]

収入については、年間総給水量が減少しますが、消費税率の改定により料金収入が増加することから、概ね同額を計上しました。

支出については、施設更新に伴う減価償却費や動力費の増加などから、増額計上しました。

[資本的収支]

収入については、建設改良工事に係る企業債借入額の減少、市町村関連工事負担金の減少などから、減額計上しました。

支出については、管路の耐震化前倒しを進め、令和元年度に基幹施設の耐震化が完了したことなどから減額計上しました。

(4) 主要事業の概要

水道設備の維持管理を行うとともに、施設・管路の耐震化及び老朽化対策の推進や「安心の蛇口」の整備などの建設改良工事を着実に実施し、安全・安心、安定的な水道水の供給体制の整備に努めます。

また、水道法改正を踏まえた水道事業の広域化・広域連携の推進や、市町村等水道事業者への支援に取り組みます。

(消費税込み)

業 務 量 等	業 務 量 等		主 要 事 業
	令和2年度要求	令和元年度当初	
給 水 戸 数	78,539戸	77,658戸	○水道事業改良費 2,192,813千円
年 間 総 給 水 量	19,102千m ³	19,337千m ³	・施設、管路の耐震化 (完了：施設は令和4年度、管路は令和6年度)
1 日 平 均 給 水 量	52,334m ³	52,833m ³	・老朽化対策の推進 施設、設備の更新（諏訪形浄水池電気室ほか） 管路の更新（塩ビ管解消による有収率対策ほか）
料 金 収 入	3,622,293千円	3,616,648千円	・「安心の蛇口」の整備 ・水道施設のダウンサイジングの推進
建 設 改 良 費 (債務負担行為設定額)	2,211,788千円 506,400千円	2,254,832千円 570,000千円	○(新)広域化シミュレーションに向けた 管網モデル作成業務 1,474千円
			○災害時受援体制の整備 200千円
			○送水幹線管内内面調査業務 10,000千円

【水道事業（用水供給事業）】

(1) 収益的収支

(消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和2年度 要求額(A)	令和元年度 当初予算額(B)	差 引	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	1,514,274千円	1,509,449千円	4,825千円	100.3%
支 出①	1,301,019千円	1,347,302千円	△ 46,283千円	96.6%
差 額 (損 益)	213,255千円 (133,730千円)	162,147千円 (100,227千円)	51,108千円 (33,503千円)	131.5% (133.4%)

(2) 資本的収支

(消費税込み)

区 分	令和2年度 要求額(A)	令和元年度 当初予算額(B)	差 引	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	253,000千円	183,000千円	70,000千円	138.3%
支 出②	1,005,742千円	811,992千円	193,750千円	123.9%
差 額	△ 752,742千円	△ 628,992千円	△ 123,750千円	119.7%
支出総計①+②	2,306,761千円	2,159,294千円	147,467千円	106.8%

(3) 要求のポイント

〔収益的収支〕

収入については、関係市村との協定に基づく給水量を供給することから、前年度と概ね同額を計上しました。

支出については、奈良井ダム管理費、固定資産除却費、委託料等の減少から、減額計上しました。

〔資本的収支〕

収入については、施設及び管路の耐震化並びに老朽化対策に係る建設改良工事が増加することに伴い、企業債が増加することから、増額計上しました。

支出については、老朽化設備の更新やリスクマネジメント対策の推進などから、増額計上しました。

(4) 主要事業の概要

水道設備の維持管理を行うとともに、施設、管路の耐震化並びに施設、設備の老朽化対策及び機能向上を着実に実施し、安全・安心、安定的な水道用水の供給体制の整備に努めます。

また、近年頻発する豪雨による原水の濁度上昇に加え、油類混入等による取水河川の水質汚濁のリスクに備えるため、活性炭注入設備の増強による大規模災害への対策強化を図ります。

(消費税込み)

	業 務 量 等		主 要 事 業
	令和2年度要求	令和元年度当初	
供給区域	松本市、塩尻市、山形村	松本市、塩尻市、山形村	○水道事業改良費 840,600千円 ・施設・管路の耐震化 (完了：施設は令和5年度、管路は令和6年度) 耐震管布設工事(東山支線) 本山浄水場排水処理施設等耐震化 ・老朽化対策の推進 施設、設備の更新(薬品注入設備取替工事等) 水質検査機器及び水質監視装置の更新 ・リスクマネジメント (新)豪雨等による高濁度対策の推進 片平取水場における取水機能の強化 (新)送水幹線管内内面調査業務 13,200千円
年間総供給量	29,555千m ³	※29,646千m ³	
1日平均供給量	80,973m ³	81,000m ³	
料金収入	1,443,461千円	1,434,866千円	
建設改良費 (債務負担行為設定額)	876,760千円 (520,000千円)	690,720千円 (80,000千円)	

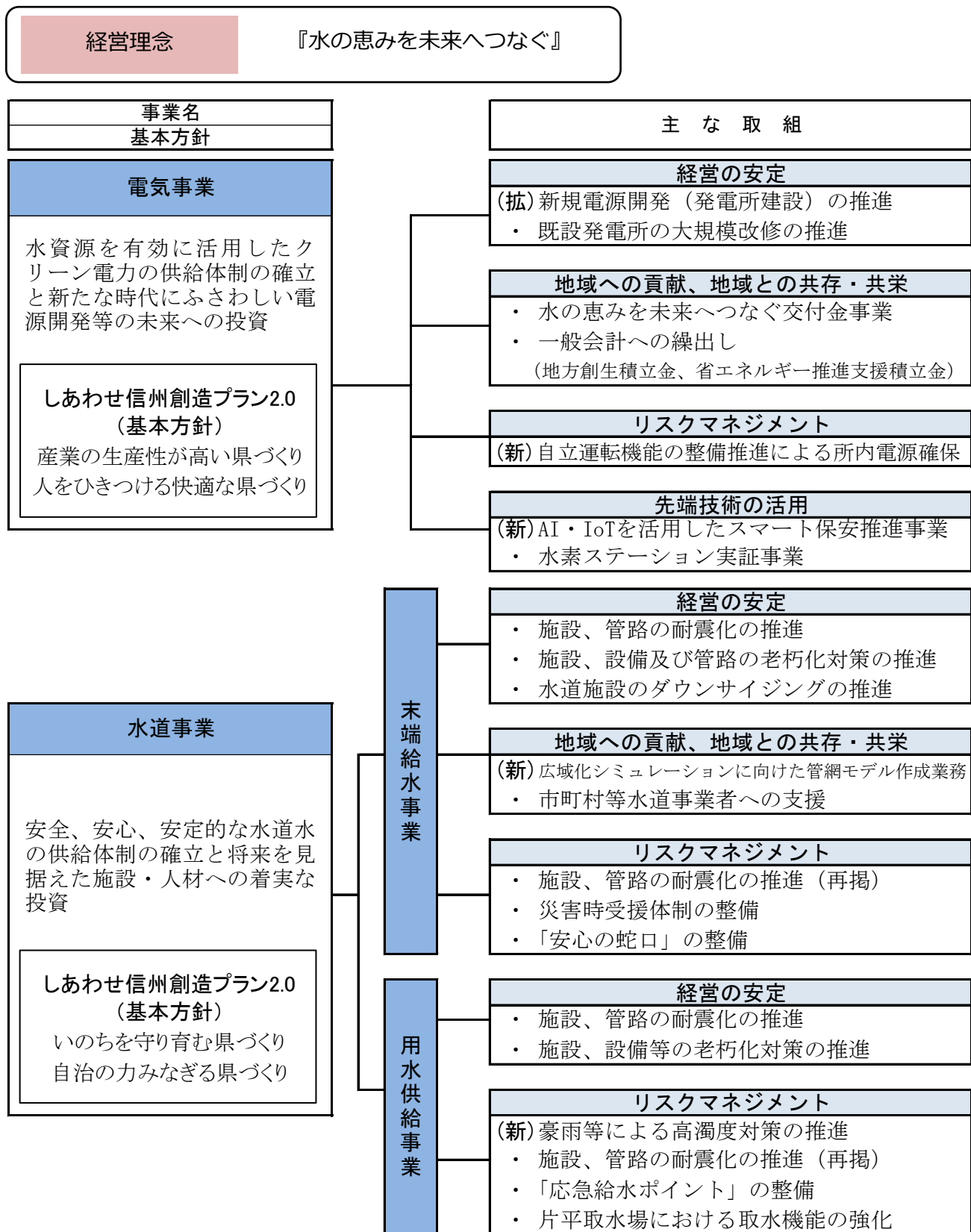
※閏年による供給量増の影響

◇令和元年台風第19号災害等の大規模災害に係る検討項目(●は令和2年度当初予算要求項目)

○大規模・長時間停電リスクの低減	
電気事業	●可搬式発電機の配備 ●発電所の自立運転機能推進による所内電源確保 ●監視体制の一元化及び監視カメラによる遠隔監視強化(スマート保安推進事業を含む。)
○浸水対策及び豪雨時における安定した水道水供給体制の強化	
水道事業	●本山浄水場活性炭注入設備の増強 ○片平取水口の機能強化 ○施設等の浸水対策
○BCP・受援体制等の整備及び大規模災害発生時等における情報発信・広報の強化	

- 注) 1 収益的収支は、主に営業活動に係る収入及び支出を表します。
 また、支出額には減価償却費等の現金支出を伴わないもの(損益勘定留保資金)を含みます。
- 2 資本的収支は、主に設備投資に係る収入及び支出を表します。
 なお、収入が支出に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんします。
- 3 損益は、収益的収支の差額から消費税相当額を控除したものです。

2 令和2年度企業局事業体系



3 事業改善シート

県公式ホームページをご覧ください。

URL: <https://www.pref.nagano.lg.jp/kigyo/kensei/soshiki/yosan/r2/r2ichiran.html>



予算要求に関する御意見・御要望については、企業局経営推進課経営企画・財務係へ
 令和2年1月17日（金曜日）までにお寄せください。

FAX : 026-235-7388

E-mail : kigyo@pref.nagano.lg.jp

4 主要事業一覧

企業局

事業名 [事業改善シート番号]	事業内容及び金額(千円)			
<p>1 電気事業 [130101]</p> 	<p>県管理ダムの活用及び新規電源開発地点発掘PJによる新規発電所建設並びに西天竜発電所や春近発電所の大規模改修などにより、経営の安定を図るとともに、再生可能エネルギーの拡大に取り組みます。</p> <p>1 経営の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県管理ダムを活用した新規2発電所建設 838,134 千円 ・小渋えんまん他6か所での新規発電所建設 469,009 千円 ・新規電源開発地点調査費 11,000 千円 ・西天竜発電所の大規模改修 440,000 千円 ・春近発電所の大規模改修 220,000 千円 ・裾花発電所出力増強 669,977 千円 <p>【拡】・しごと改革に資する財務会計システムの再構築及びRPAの活用事業 38,600 千円 (電気・水道共通事業)</p> <p>2 地域への貢献、地域との共存・共栄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の恵みを未来へつなぐ交付金事業 30,000 千円 ・地方創生積立金からの繰出し 400,000 千円 ・省エネルギー推進支援積立金からの繰出し 50,000 千円 <p>3 リスクマネジメント</p> <p>【新】・自立運転機能の整備推進による所内電源確保</p> <p>4 社会情勢変化への対応</p> <p>【新】・AI・IoTを活用したスマート保安推進事業 55,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素ステーション実証事業 3,300 千円 			
企業局	R2要求 [債務負担行為額]	7,693,845 [5,920,305]	R1当初 [債務負担行為額]	7,423,575 (29,380,425)
<p>2 末端給水事業 [130102]</p> 	<p>施設及び管路の耐震化の推進並びに老朽化対策の着実な実施などにより、経営の安定と危機管理体制の強化を図るとともに、水道法の改正を踏まえた水道事業の広域化・広域連携の推進や、市町村等水道事業者への支援に取り組みます。</p> <p>1 経営の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の耐震化の推進 32,000 千円 ・管路の耐震化の推進 662,459 千円 ・施設、設備及び管路の老朽化対策の推進 1,055,933 千円 ・水道施設のダウンサイジングの推進 5,500 千円 <p>2 地域への貢献、地域との共存・共栄</p> <p>【新】・広域化シミュレーションに向けた管網モデル作成業務 1,474 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村等水道事業者への支援 (漏水調査機器の貸出し・技術支援、実務研修会の開催、相談窓口の設置等) <p>3 リスクマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時受援体制の整備 200 千円 ・「安心の蛇口」の整備(2か所) 10,000 千円 			
企業局	R2要求 [債務負担行為額]	7,526,924 [506,400]	R1当初 [債務負担行為額]	7,507,163 (570,000)
<p>3 用水供給事業 [130103]</p> 	<p>施設及び管路の耐震化の推進並びに老朽化対策の着実な実施などにより、経営の安定と危機管理体制の強化を図るとともに、供給先市村との連携強化に取り組めます。</p> <p>1 経営の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設、管路の耐震化の推進 311,000 千円 ・施設、設備等の老朽化対策の推進 402,828 千円 <p>2 リスクマネジメント</p> <p>【新】・豪雨等による高濁度対策の推進 80,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「応急給水ポイント」の整備(1か所) 2,000 千円 ・片平取水場における取水機能の強化 			
企業局	R2要求 [債務負担行為額]	2,306,761 [520,000]	R1当初 [債務負担行為額]	2,159,294 (80,000)